

10. 物価

国内企業物価は、素材価格の上昇により上昇している。消費者物価は、このところ石油製品を中心に上昇しているが、基調としては横ばいとなっている。

(前年同期(月)比、( )内は前期(月)比、<>内は季節調整済前期(月)比、%)

		2005年度	2006年度	7-9月	10-12月	10月	11月	12月
国内企業物価		1.7	2.1	( 0.9 ) 1.6	P ( 0.5 ) 2.3	( 0.3 ) 2.0	( 0.2 ) 2.3	P ( 0.4 ) 2.6
輸出物価		2.3	3.2	( ▲ 1.4 ) 1.5	P ( ▲ 2.6 ) ▲ 1.5	( 0.7 ) ▲ 0.5	( ▲ 2.5 ) ▲ 2.1	P ( 0.5 ) ▲ 1.8
	契約通貨ス	▲ 0.8	0.3	( 0.1 ) ▲ 0.3	P ( ▲ 0.5 ) ▲ 0.2	( ▲ 0.2 ) ▲ 0.3	( ▲ 0.1 ) ▲ 0.1	P ( 0.0 ) 0.0
輸入物価		15.7	10.5	( 0.2 ) 4.9	P ( 2.8 ) 9.4	( 3.3 ) 7.1	( ▲ 0.6 ) 8.7	P ( 3.9 ) 12.6
	契約通貨ス	11.3	7.5	( 2.1 ) 3.5	P ( 5.9 ) 12.5	( 2.6 ) 8.6	( 2.4 ) 12.8	P ( 3.3 ) 16.1
企業向けサービス価格		▲ 0.5	0.2	( 0.0 ) 1.3		( 0.3 ) 1.4	P ( 0.1 ) 1.4	
	海外要因を除くベース	▲ 0.7	▲ 0.2	< 0.4 > 0.6		< ▲ 0.4 > ▲ 0.1	P < 0.2 > ▲ 0.0	
消費者物価	総合固定基準	▲ 0.1	0.2	< 0.2 > ▲ 0.2		< 0.2 > 0.3	< 0.3 > 0.6	< 0.1 > < 0.1 > 0.3 0.4
	生鮮食品を除く総合(コア)固定基準	0.1	0.1	< 0.0 > ▲ 0.1		< 0.1 > 0.1	< 0.4 > 0.4	< 0.1 > < 0.1 > 0.1 0.3
	生鮮食品を除く総合(コア)連鎖基準	—	0.1	▲ 0.2		0.0	0.3	0.0 —
	石油製品及びその他特殊要因を除く総合(コアコア)固定基準	▲ 0.3	▲ 0.3	< ▲ 0.2 > ▲ 0.3		< 0.0 > ▲ 0.1	< 0.1 > ▲ 0.0	
GDPデフレーター	▲ 1.3	▲ 0.7	< ▲ 0.2 > ▲ 0.4		—	—	—	

消費者物価  
(東京都区部)  
11月 12月(P)

- (備考) 1. 企業物価、消費者物価は2005年基準、それ以外は2000年基準。Pは速報値。  
 2. 企業向けサービス価格の海外要因を除くベースは、国際航空旅客輸送、定期船、不定期船、外航タンカー、外航貨物用船料、国際航空貨物輸送を除いたもの。  
 3. 消費者物価の石油製品及びその他特殊要因を除く総合は、生鮮食品を除く総合から、石油製品、電気代、都市ガス代、米類、切り花、鶏卵、固定電話通信料、診療代、介護料、たばこを除いたもの。  
 4. GDPデフレーターの季節調整済前期比、企業向けサービス価格の海外要因を除くベース及び消費者物価のコアコアは、内閣府経済財政分析総括担当試算値。

